

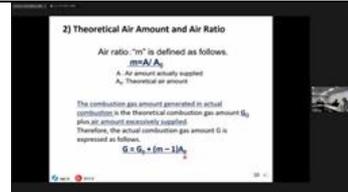
マレーシアに対する第7回省エネ研修（BECMY7）（オンライン）を開催しました

【事業概要】

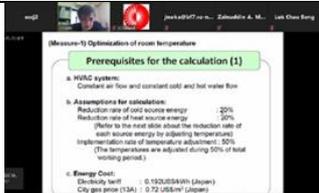
一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）では、経済産業省の委託を受けてマレーシアへの二国間省エネ協力事業を今年度も展開中です。コロナの関係で当面現地への専門家派遣と日本での研修は困難であることより、これまで4回のオンライン会議にて今年度の支援事業内容等を協議してきましたが、今年度の主要事業であるオンライン研修（BECMY7）を2020年12月2-3日、9-10日の4日間エネルギー天然資源省他と開催しました。



ECCJ研修会場（田町）



熱エネルギー理論講義



熱設備管理講義



参加者集合写真

1. 研修参加者：

- (1) マレーシア：エネルギー天然資源省（MENR）4名、持続可能エネルギー開発機構（SEDA）2名、エネルギー委員会（EC）2名、他関係機関 14名、計22名
- (2) 日本側：METI 1名、ECCJ国際協力本部 9名（含む東海支部 1名）

2. 研修概要：

- (1) 目的：マレーシアで新たに制度化されるType 2 エネルギー管理士研修他での熱技術・設備分野の講師候補者を中心とした人材育成を行う。
- (2) 研修生数：Max. 15名の案内に対して当初9つの機関から14名が提案されましたが、その後追加要望があり、11機関、22名が参加しました。
- (3) 講義項目：以下の内容を4日間（各日4時間）に亘り講義しました。
 - ① 日本のエネルギー管理制度
 - ② 熱エネルギーの基礎理論
 - ③ 熱設備管理（ボイラー、蒸気システム、工業炉、廃熱回収、圧空システム、空調）
 - ④ 熱設備の省エネ診断
- (4) オンライン方法：Zoomを利用しましたが、生の質疑応答以外にオンラインシステムでの利点としてチャットでも多くの質問を得て対応しました。
- (5) 開講式・閉講式挨拶者：エネルギー天然資源省・事務次官補、METI・課長補佐、ECCJ・常務より挨拶をいただきました。
- (6) 修了証：22名の受講者の内、4日間の講義のほとんどを受講した17名に修了証を授与しました。

3. 次回オンライン会議：2021年2月中旬までに、今回の研修結果を踏まえ来年度計画の協議する会議を開催する予定です。

以上